HATSUTA

船舶用消火器総合カタログ

SDPC-17X

Extinguishers for Marine Use

ハツタは、あらゆるセーフティニーズに
おこたえする企業をめざします。

安全航海の必需品 ―ハツタ船舶用消火器

イザという時、ひとクラス上の防火対策

ハンディタイプから移動式・固定式など
充実のラインナップ。
船種に応じてご選択いただけます。

■2002年6月25日、国土交通省告示第516号（25条充填する消火器の量）により、「持ち運び式消火器（粉末、炭酸ガス消火器）は消火薬剤の量又は質量を5kg以上9.5kg以下としなければならない」と改正されました。

（船舶の消防設備の基準を定める告示 第25条より抜粋）

消火器	消火剤の容量又は質量			
	簡易式のもの	持運び式のもの	移動式のもの	固定式のもの
液体消火器	4.5ℓ以上 9ℓ未満	9ℓ以上 13.5ℓ以下	13.5ℓを超え 45ℓ以下	45ℓを超える 容量
泡消火器				
炭酸ガス消火器	2kg以上 5kg未満	5kg以上 9.5kg以下	9.5kgを超え 28kg以下	28kgを超える 質量
粉末消火器				

[国際規格]

- 国際海事機構　海上人命安全条約　第Ⅱ-2章　構造（防火並びに火災探知及び消火）
  IMO SOLAS（SAFETY OF LIFE AT SEA）CHAPTERⅡ-2
  （CONSTRUCTION-FIRE PROTECTION、FIRE DETECTION AND FIRE EXTINCTION）

[日本国内の船舶用消防設備に関係する法規改正]

- 船舶安全規程等の一部を改正する省令（国土交通省令第75号）他
- 船舶の消防設備の基準を定める告示（国土交通省告示第516号）他

■2008年7月1日、国海査第141号（型式承認基準の廃止及び制定について）（国土交通省告示第516号26条に追加）により、消火器に下記事項の表示が義務付けられました。

・消火器が正常に作動する温度範囲の表示
・使用方法及び再充填の方法の表示
・試験圧力の表示

※上記以前に製造された消火器については、
「作動温度範囲シール」をご用意しております。

（例）

バーストレス™(蓄圧式)粉末〈ABC〉消火器

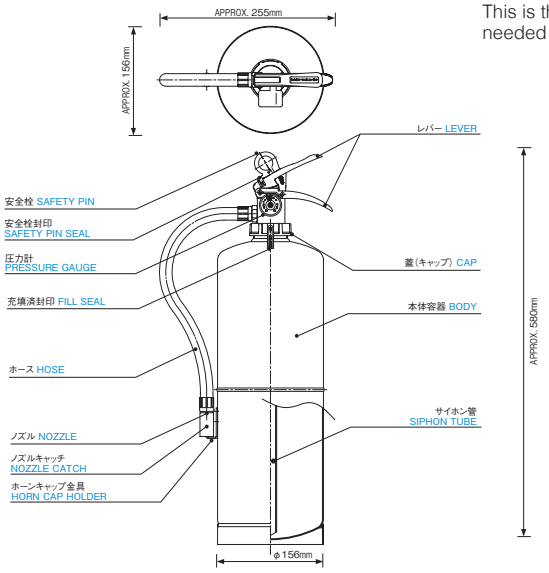
A(普通) B(油) C(電気)火災用
Fire Class:A(General),B(Oil) and C(Electric)Fire

DRY CHEMICAL FIRE EXTINGUISHER FOR MARINE USE (PRESSURIZED)

持運び式粉末〈ABC〉消火器
PORTABLE-TYPE

SDPC-17X

■構造図 STRUCTURE



レバーを握る力は従来品の約1/3。
誰にでも消火薬剤を放射できるUD(ユニバーサルデザイン)を取り入れた消火器です。

This is the Universal design fire extinguisher. Only 1/3 of the power is needed to squeeze the lever compared to a regular extinguisher.

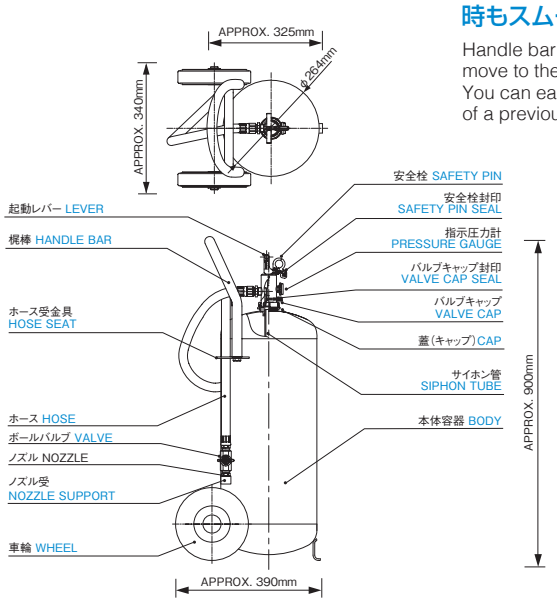
■仕様 SPECIFICATIONS

方式 Type	持運び式 PORTABLE-TYPE
型式 Model	SDPC-17X
薬剤質量 Agent Weight	5.0kg
総質量 Total Weight	約8.3kg
全高 Total Height	約580mm
放射距離 Discharge Range	約4～7m
放射時間 Discharge Time	約14sec.
使用温度範囲 Temperature Range	-30℃～+55℃
標準価格 Price	¥23,625 (本体価格¥22,500／消費税等¥1,125)

移動式粉末消火器
WHEEL-TYPE

PP-55M

■構造図 STRUCTURE



取っ手の太さが従来の1.7倍。火災現場への移動が容易です。
また、使用時に必要な力は従来品の約1/5。いざという時もスムーズに消火がおこなえます。

Handle bar is 1.7 times thicker than a previous model so it is easier to move to the fire location.
You can easily discharge it because you need only 1/5 of the power of a previous one.

■仕様 SPECIFICATIONS

方式 Type	移動式 WHEEL-TYPE
型式 Model	PP-55M
薬剤質量 Agent Weight	23kg
総質量 Total Weight	約42kg
全高 Total Height	約900mm
放射距離 Discharge Range	約3～8m
放射時間 Discharge Time	約42sec.
使用温度範囲 Temperature Range	-30℃～+55℃
標準価格 Price	¥157,500 (本体価格¥150,000／消費税等¥7,500)

■特長 FEATURE

●バーストレス™消火器(蓄圧式)は安全です。 Burstless type (Pressurized type) fire extinguisher is safe.
あらかじめ一定の圧力を本体内部に蓄積しており、操作時の急激な加圧による反動がないため、破裂の心配がありません。
Since the cylinder is already pressurized, there are no worries about bursting at the time of operation, because there is no increase in pressure.

●日常点検は、ゲージ圧の確認でOK! All you have to do as daily check is checking the pressure gauge.
蓄圧式の場合「圧力ゲージ」の針がグリーンゾーンにあることを確認してもらえれば十分なので、維持点検の簡単さが抜群です。
Maintenance check is quite simple. You need to check the pressure gauge pointer is in green zone.

●女性にもやさしい操作性を実現。 Easy to operate for everyone.
蓄圧式消火器はほとんど無反動です。この優しさが、女性や子供しかいない場合の火災現場でも役に立ちます。
Burstless type fire extinguisher has little push back.This easy operation helps everyone including children and senior people to use the fire extinguisher.

●PRTR法非該当 Compliance with Regulation PRTR
PRTR法非該当の消火薬剤を使用した消火器です。
To be used extinguishing agent that is not against Regulation PRTR.

※PRTR：Pollutant Release and Transfer Register
〔化学物質排出移動量届出制度〕

加圧式粉末〈ABC〉消火器

A（普通）B（油）C（電気）火災用
Fire Class:A (General),B (Oil) and C (Electric) Fire

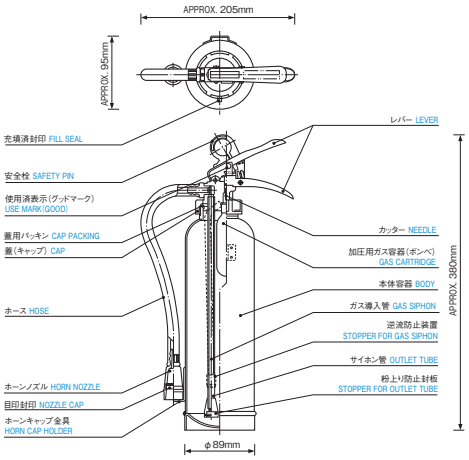
DRY CHEMICAL FIRE EXTINGUISHER FOR MARINE USE（CARTRIDGE TYPE）

使い方は簡単。あらゆる火災に抜群の威力を発揮します。
These are easy-to use extinguishers and they display their greatest force in any case of fire.

小型船舶用粉末〈ABC〉消火器
SIMPLE-TYPE FOR SMALL CRAFT

CSP-3X

■構造図 STRUCTURE



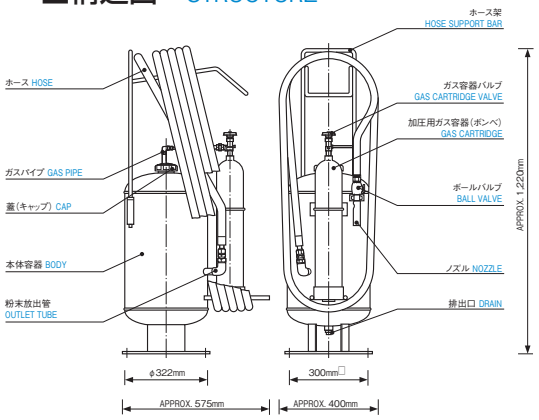
■仕様 SPECIFICATIONS

方式 Type	小型船舶用 SIMPLE-TYPE FOR SMALL CRAFT
型式 Model	CSP-3X
薬剤質量 Agent Weight	1.0kg
総質量 Total Weight	約2.2kg
全高 Total Height	約380mm
放射距離 Discharge Range	約3～5m
放射時間 Discharge Time	約12sec.
使用温度範囲 Temperature Range	-20℃～+55℃
標準価格 Price	¥13,125 （本体価格¥12,500／消費税等¥625）

固定式粉末消火器
FIXED-TYPE

SDP-100

■構造図 STRUCTURE



■仕様 SPECIFICATIONS

方式 Type	固定式 FIXED-TYPE	固定式のヘリポート用 FIXED-TYPE
型式 Model	SDP-100	※SDP-100HP
薬剤質量 Agent Weight	40kg	45kg
総質量 Total Weight	約90kg	約150kg
全高 Total Height	約1,220mm	約1,150mm
放射距離 Discharge Range	約6～10m	約6～10m
放射時間 Discharge Time	約30sec.	約105sec.
使用温度範囲 Temperature Range	-30℃～+55℃	-30℃～+55℃
標準価格 Price	¥367,500 （本体価格¥350,000 消費税等 ¥17,500）	¥399,000 （本体価格¥380,000 消費税等 ¥19,000）

※印は受注生産品です。
SDP-100HPは船舶ヘリコプター離着専用です。

船舶用
FOR CRAFT

自動拡散型粉末消火器（プロマリン）

A（普通）B（油）C（電気）火災用
Fire Class:A (General),B (Oil) and C (Electric) Fire

AUTOMATIC DRY CHEMICAL FIRE EXTINGUISHER FOR MARINE “PROMARINE”

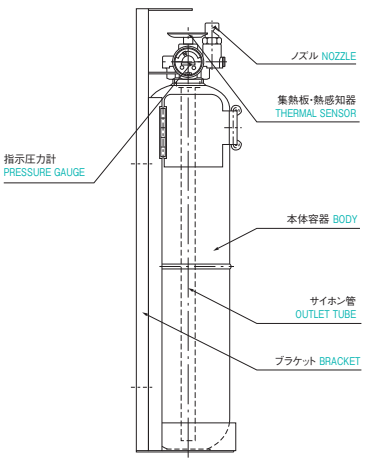
DD-150

小型船舶用
FOR SMALL CRAFT

DD-80

DD-30

■構造図 STRUCTURE



エンジンルーム等の天井近くに取り付けるだけで、24時間火災を見張ります。

Install the extinguisher close to the ceiling and it will watch for fires in the room 24 hours daily.

■仕様 SPECIFICATIONS

型式 Model	DD-30	DD-80	DD-150
薬剤質量 Agent Weight	0.3kg	0.8kg	1.5kg
総質量 Total Weight	約1.4kg（ブラケット含む）	約2.2kg（ブラケット含む）	約4.1kg（ブラケット含む）
全高 Total Height	約300mm	約265mm	約475mm
防護容積 Protect Capacity	2m³	4m³	8m³
放射時間 Discharge Time	約2sec.	約4sec.	約6sec.
公称作動温度 Operating Temperature	95℃		
標準価格 Price	¥25,200 （本体価格¥24,000 消費税等 ¥1,200）	¥25,725 （本体価格¥24,500 消費税等 ¥1,225）	¥28,350 （本体価格¥27,000 消費税等 ¥1,350）

※必ず立てて設置して下さい。

化学泡消火器 CHEMICAL FOAM FIRE EXTINGUISHER

A（普通）B（油）火災用
Fire Class:A（General）and B（Oil） Fire

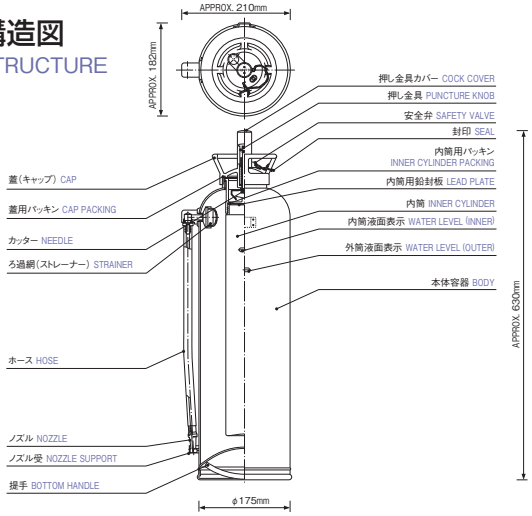
積荷や船のタイプによって適した消火薬剤は異なります。
粉末（ABC）、化学泡、二酸化炭素など、用途に応じたバリエーションを揃えています。

You have to choose the proper extinguishing agent for each cargo and vessel.
We have a wide variety of extinguishing agent, such as ABC powder, Chemical foam, CO_2 gas etc.

持運び式化学泡消火器
PORTABLE-TYPE

SFS-10

■構造図
STRUCTURE



■仕様 SPECIFICATIONS

方式 Type	持運び式 PORTABLE-TYPE
型式 Model	SFS-10
液容量 Capacity	9.0L
総質量 Total Weight	約13.7kg
全高 Total Height	約630mm
放射距離 Discharge Range	約6～10m
放射時間 Discharge Time	約68sec.
使用温度範囲 Temperature Range	+5℃～+55℃
標準価格 Price	¥13,650（本体価格¥13,000／消費税等¥650）

移動式化学泡消火器
WHEEL-TYPE

45-L

固定式化学泡消火器
FIXED-TYPE

136-L

■仕様 SPECIFICATIONS

方式 Type	移動式 WHEEL-TYPE	固定式 FIXED-TYPE
型式 Model	45-L	※136-L
液容量 Capacity	45L	136L
総質量 Total Weight	約90kg	約370kg
全高 Total Height	約900mm	約1,630mm
放射距離 Discharge Range	約10～15m	約8～19m
放射時間 Discharge Time	約100sec.	約70sec.
使用温度範囲 Temperature Range	+5℃～+55℃	+5℃～+55℃
標準価格 Price	¥184,800（本体価格¥176,000 消費税等 ¥8,800）	¥546,000（本体価格¥520,000 消費税等 ¥26,000）

※印は受注生産品です。

二酸化炭素消火器 B（油）C（電気）火災用
Fire Class:B（Oil）and C（Electric）Fire

CARBON DIOXIDE（CO_2）FIRE EXTINGUISHER

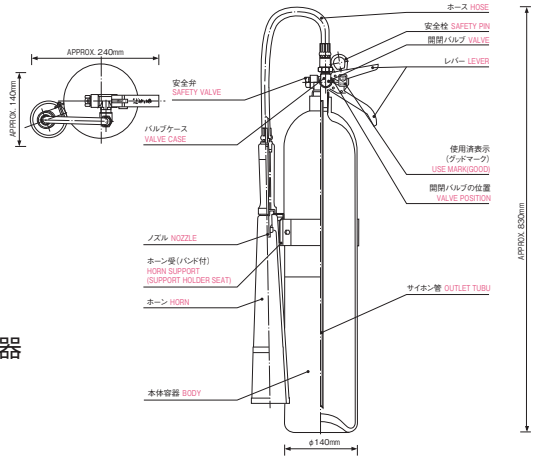
CO_2消火薬剤は、高い電気絶縁性を誇り、電気関係施設や精密機械・機器などに悪影響を及ぼしません。

CO_2 is non-conductive and clean. There is little effect on electrical equipment, precision machinery or tools.

持運び式
二酸化炭素消火器
PORTABLE-TYPE

SHC-11

■構造図
STRUCTURE



■仕様 SPECIFICATIONS

方式 Type	持運び式 PORTABLE-TYPE
型式 Model	SHC-11
薬剤質量 Agent Weight	5.0kg
総質量 Total Weight	約15.3kg
全高 Total Height	約830mm
放射距離 Discharge Range	約3～4m
放射時間 Discharge Time	約34sec.
使用温度範囲 Temperature Range	-30℃～+55℃
標準価格 Price	¥45,150（本体価格￥43,000／消費税等￥2,150）

持ち運び式泡放射器　PORTABLE FOAM APPLICATOR UNIT

■使用方法 HOW TO OPERATE

火災発生時、次の手順で使用してください。
In case of fire.

①消防ホースを消火栓に接続する。
Connect FIRE with HYDRANT VALVE.

②フォームノズルを消防ホースに接続する。
Connect FOAM NOZZLE with FIRE HOSE.

③ピックアップチューブを泡消火薬剤容器の中へ入れる。
Insert the tip of PICK-UP TUBE into FOAM LIQUID.

④消火栓バルブを操作し、消火活動を行う。
Open FIRE HYDRANT VALVE and start the fire extinguishing work.

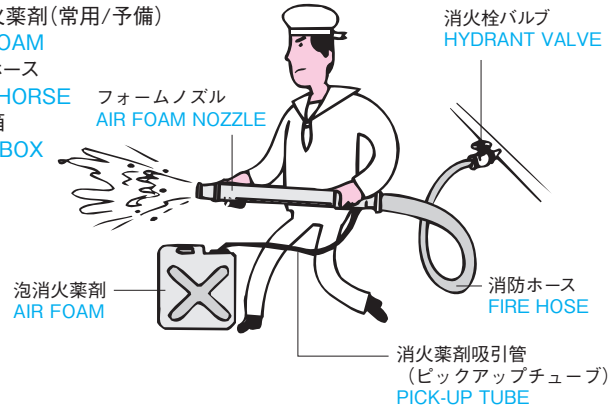
■仕様 SPECIFICATIONS

泡消火薬剤 AIR FOAM	型式 Model	3%型
	混合比 Mixing Ratio	泡消火薬剤 3：水 97　Air Foam 3 : Water 97
	薬剤量 Agent Weight	20L 容器2缶
総質量 Total Weight		約90kg
泡放射量 Capacity of Foam Discharge		1.5m3/min以上
ノズル放射量 Capacity of Water Discharge		250L/min（0.35MPa）
発泡倍率 Expansion Patio		6倍～12倍
標準価格 Price		¥241,500（本体価格 ¥230,000　消費税等 ¥11,500）

注意:本装置は0.35MPa以上で使用して下さい。
Note:This system shall be use at the pressure of not less than 0.35MPa

■構成機器 COMPOSITION

●フォームノズル
AIR FOAM NOZZLE
●泡消火薬剤（常用/予備）
AIR FOAM
●消防ホース
FIRE HORSE
●格納箱
UNIT BOX



消火器を必要とする小型船舶及び小型漁船

（平成22年12月20日改正）

小型船舶安全規則

（総トン数20トン未満の船舶その他）

■消火器の備付数量

小型船舶の航行区域	旅客船	旅客船以外
近海区域以上を航行区域とするもの	5　個	4　個
沿海区域を航行区域とするもの	4　個	3　個
限定沿海区域を航行区域とするもの	3　個	2　個
平水区域を航行区域とするもの	2　個	2　個

推進機関を有しない小型船舶及び船外機のみを有する小型船舶は上表より消火器1個を減ずることができる。

小型漁船安全規則

（総トン数20トン未満の漁船）

■消火器の備付数量

	第2種船	第1種船
機関区域	2　個	1　個
居住区域	2　個	1　個

船外機のみを有する第1種船は上表より消火器1個を減ずることができる。
第2種船の主な業務
鮭･鱒流網漁業、鮭･鱒延縄漁業（10トン以上）、鮪延縄漁業（15トン以上）、鰹竿釣漁業（15トン以上）前記及び第1種船以外の業務。
第1種船の主な業務
採介藻漁業、定置漁業、旋網漁業、曳網漁業、小型捕鯨業及び前記以外の海岸より100海里以内の海域に於いて従業するもの。

■無人機関室の消防設備 （小型船舶、小型漁船共通）

無人機関室には配置等を考慮して十分な数の自動拡散型消火器をそなえる。
（但し自動拡散型消火器を備えた場合消火器を1個減ずることができる。）

※小型船舶用消火器は設置後「おおむね5年」を経過したら更新することをお奨めします。安全対策上から定期的に点検の励行と、少なくとも設置後8年以内には新しい消火器に更新していただくことをお願いいたします。

船舶安全法消防設備規則（消火器関係）早見表 （平成22年6月18日改正）

区　域	第1種船	第2種船	
		遠洋・近海	沿海・平水海
ロールオン、ロールオフ貨物区域等 （第43条の2）	持運び式泡放射器　1個 （ロールオン、ロールオフ貨物区域等が一のみである場合には2個）		
	車両甲板区域の両舷に20mを超えない間隔で、また車両甲板区域の出入り口付近の外部に持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器		
油だきボイラー室等 油だきボイラー室又は燃焼油装置のある場所	①持運び式泡放射器　1個 ②135L以上の泡消火器　1個		45L移動式泡消火器　1個
各たき火場及び燃焼油装置の1部がある場所 （第44条）	①各場所に持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器　2個 ②材質等について告示で定める乾燥物質を入れた容器及び散布用具（たき火場のみ）　1個 （但し②の代わりに持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器を設置することが出来る）		第1種船①に同じ （簡易式代替可）
内燃機関のある場所 （主機又は合計出力375kw以上の補助機関として使用するものに限る） （第2種船の内、沿海、平水海を航行する船舶は主機又は合計出力750kw以上の補助機関として使用するものに限る）　（第45条）	①持運び式泡放射器　1個 ②加圧された燃料油又は潤滑油を含む装置及び伝動装置のすべての部分並びに他の火災危険箇所　十分な数の45L移動式泡消火器 ③持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器　2個以上 （当該場所のいずれかの点からも10m以内の徒歩で到達できる配置）		①45L移動式泡消火器　1個 （但し、300トン未満は十分な数の持運び式消火器に代替可） ②第1種船③に同じ （簡易式代替可）
焼却炉又は油だき加熱機のある場所 （油だきボイラー除く） （第45条の2）	①焼却炉又は油だき加熱機の最大発熱量（最大処理熱量） 420,000kJ/H以上～840,000kJ/H未満　45L移動式泡消火器　1個 840,000kJ/H以上～4,190,000万kJ/H未満　135L以上の移動式泡消火器　1個 4,190,000kJ/H以上　固定式消火装置 ②焼却炉、加熱機のある場所各々に持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器　1個 （但し、210,000kJ/H以上420,000kJ/H未満は　2個）		
蒸気タービン等のある場所 蒸気タービン又は密閉型蒸気機関 （主機又は合計375kw以上の補助機関として使用するものに限る） （第46条）	①強制潤滑装置のすべての部分及びタービン、機関又は連結している伝動装置の強制潤滑部分を密閉しているケーシングのすべての部分並びに他の火災危険箇所　十分の数の45L移動式泡消火器 ②2個以上の持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器 （但し、当該場所のいずれの点からも10m以内の徒歩で到達できる配置） （沿海、平水海を航行する第2種船については簡易式代替可）		
その他の機関区域 （前記以外の機関区域） （第47条の2）	1-①作業室、内燃機関、強制潤滑装置を有する機械又は油圧機械のある場所、給油場所その他油火災を生じる恐れのある場所 持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器　1個 1-②機関制御室、冷凍機械、通風機械又は空気調和機械のある場所、その他電気火災を生ずる恐れのある場所 持運び式鎮火性ガス又は粉末消火器　1個 2　特定機関区域（容積が500m³以上のものに限る）内のイナート・ガス発生装置の火災危険場所 持運び式鎮火性ガス又は粉末消火器　2個		
居住区域等（第48条） 居住区域 公室及び雑居室	床面積250m²又はその端数ごとに液体消火器、泡消火器又は粉末消火器（リン酸塩類を消火剤とするものに限る）のうちいずれか1個		1,000トン以上 第1種船に同じ 1,000トン未満 居住区域、業務区域のいずれの部分への距離も15m以内となるように持運び式液体、泡又は粉末消火器を設置、かつその数は甲板毎に2個以上（簡易式代替可） 但し、1000トン未満は塗料庫の出入り口付近の外部に持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器　1個
通路	通路の長さ25m又はその端数ごとに液体消火器、泡消火器又は粉末消火器（リン酸塩類を消火剤とするものに限る）のうちいずれか1個		
診療室	液体消火器、泡消火器又は粉末消火器（リン酸塩類を消火剤とするものに限る）のうちいずれか1個		
業務区域 調理室、貯蔵品室、郵便物室、金庫室、作業室及び手荷物室	泡消火器、鎮火性ガス消火器又は粉末消火器のうちいずれか1個（フライヤーを有する調理室にあっては2個）		
調理器具のある配ぜん室及び洗濯物乾燥室	液体消火器、泡消火器又は粉末消火器のうちいずれか1個		
制御場所	液体消火器、泡消火器、鎮火性ガス消火器又は粉末消火器のうちいずれか1個（床面積50m²以上ある操だ室にあっては、2個）		
塗料庫	塗料庫の出入り口付近の外部に持運び式の泡消火器、鎮火性ガス消火器又は粉末消火器のうちいずれかを1個 ※塗料庫、手荷物室その他閉囲されている場所に自動拡散型の消火器を備え付けた場合は、消火器の数を減ずることが出来る。		500トン以上は塗料庫の出入り口付近の外部に持運び式消火器　1個
持運び式消火器の備え付け方法	持運び式消火器のうち1個は、備え付ける場所の出入り口付近に配置しなければならない。		
無人の機関室 （第69条）	火災探知装置		火災探知装置又は室の容積に対して十分な数の自動拡散型消火器
予備薬剤 （持運び式消火器又は簡易消火器の予備薬剤）　（第71条） （船舶の消防設備の基準を定める告示第48条）	設置合計数が10以下の場合　設置数と同数 設置合計数が10を超える場合 設置合計が10を超えた数に0.5を乗じた数と10の合計 （但し、60を超える場合は60とする）		1,000トン以上 第1種船に同じ 100トン以上～1,000トン未満 設置合計数に0.25を乗じた数 100トン未満 設置合計数に0.1を乗じた数

注1:表中（簡易式代替可）とあるのは「持運び式消火器1個を簡易式消火器2個に代えることが出来る」を示す。
注2:鎮火性ガス消火器は炭酸ガス消火器を指す。
注3:居住区域、業務区域及び制御場所に備え付けられる消火器の合計数は5個以上でなければならない。
注4:持運び式消火器のうち1個は、備え付ける場所の出入り口付近に配置しなければならない。

船舶安全法消防設備規則（消火器関係）早見表

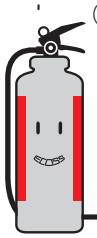
（平成22年6月18日改正）

区　域	第3種船	第4種船 遠洋・近海	第4種船 沿海・平水海	一般漁船
ロールオン、ロールオフ貨物区域（遠洋、近海を航行する第4種船については500トン以上）（第57条の2）	持運び式泡放射器　1個（ロールオン、ロールオフ貨物区域が一のみである場合には2個） 車両甲板区域の両舷に20mを超えない間隔で、また車両甲板区域の出入り口付近の外部に持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器			
油だきボイラー室等　油だきボイラー室又は燃焼油装置のある場所（第59条）	①持運び式泡放射器　1個（内部又は出入り口付近の外部の目に付きやすい位置に備え付け） ②135L以上の泡消火器　1個（油だきボイラー出力175kw未満は45L以上の移動式泡消火器）			500トン以上に限り ①持ち運び式泡消火器　1個（内部又は出入り口付近の外部の目に付きやすい位置に備え付け） ②135L以上の泡消火器　1個（油だきボイラー出力175kw未満は45L以上の移動式泡消火器） 漁船特殊規程（第51条の14）
内燃機関のある場所（主機又は合計出力375kw以上の補助機関として使用するものに限る）（第60条）	①持運び式泡放射器　1個（第3種船等に限る） ②加圧された燃料油又は潤滑油を含む装置及び伝動装置のすべての部分並びに他の火災危険箇所　十分な数の45L移動式泡消火器 ③持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器　2個以上（当該場所のいずれの点からも10m以内の徒歩で到達できる配置） 但し①、②及び③の適用は第3種船及び遠洋区域又は近海区域を航行区域とする総トン数500トン以上の第4種船に限る		①第3種船③に同じ（簡易式代替可） ②1,000トン以上の第4種船（近海区域は限定近海船に限る）は第3種船等の②と同じ ※近海（限定近海に限る）沿海、平水区域であって500トン以上の第4種船及び500トン未満の第4種船は簡易式代替可	500トン以上第3種船に同じ 100トン以上500トン未満 ①持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器　2個 ②機関出力750kw又はその端数毎に持運び式泡消火器　1個（簡易式代替可） 100トン未満 持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器　1個 漁船特殊規程（第51条の10）
焼却炉又は油だき加熱機のある場所（油だきボイラー除く）（第64条）	①焼却炉又は油だき加熱機の最大発熱量（最大処理熱量） 420,000kJ/H以上～840,000kJ/H未満　45L移動式泡消火器　1個 840,000kJ/H以上～4,190,000kJ/H未満　135L以上の移動式泡消火器　1個 4,190,000kJ/H以上　固定式消火装置 ②焼却炉、加熱機のある場所各々に持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器　1個（但し210,000kJ/H以上420,000kJ/H未満は　2個） ※近海（限定近海に限る）沿海、平水区域であって500トン以上の第4種船及び500トン未満の第4種船は簡易式代替可			
蒸気タービン等のある場所　蒸気タービン又は密閉型蒸気機関（主機又は合計375kw以上の補助機として使用するものに限る）（第64条）	① 強制潤滑装置のすべての部分及びタービン、機関又は連結している伝動装置の強制潤滑部分を密閉しているケーシングのすべての部分並びに他の火災危険箇所　十分な数の45L移動式泡消火器 ②2個以上の持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器（但し、当該場所のいずれの点からも10m以内の徒歩で到達できる配置）（沿海、平水海を航行する第2種船については簡易式代替可）			
その他の機関区域（前記以外の機関区域）（第64条）	①内燃機関、強制潤滑装置を有する機械又は油圧機械のある場所、給油場所その他油火災を生じる恐れのある場所　持運び式泡、鎮火性ガス又は粉末消火器　1個 ②冷凍機械、通風機械又は空気調和機械のある場所、その他電気火災を生ずる恐れのある場所　持ち運び式鎮火性ガス又は粉末消火器　1個			
居住区域等（第62条）　居住区域　公室及び雑居室	床面積250㎡又はその端数ごとに液体消火器、泡消火器又は粉末消火器（リン酸塩類を消火剤とするものに限る）のうちいずれか　1個		居住区域、業務区域に持運び式消火器を適当に分散して配置しなければならない 合計数は以下の通り 近海（限定近海船に限る）沿海、平水区域で1,000トン以上の第4種船　5個 近海（限定近海船に限る）沿海、平水区域で500トン以上～1,000トン未満の第4種船　4個 100トン以上～500トン未満の第4種船　3個 50トン以上～100トン未満の第4種船　2個 50トン未満の第4種船　1個 ※第4種船は簡易式代替可	居住区域、業務区域に持運び式消火器を適当に分散して配置しなければならない 合計数は以下の通り 1,000トン以上　5個 500トン以上～1,000トン未満　4個 50トン未満　3個 漁船特殊規程（第51条の11）
居住区域　通路	通路の長さ25m又はその端数ごとに液体消火器、泡消火器又は粉末消火器（リン酸塩類を消火剤とするものに限る）のうちいずれか　1個			
居住区域　診療室	液体消火器、泡消火器又は粉末消火器（リン酸塩類を消火剤とするものに限る）のうちいずれか　1個			
業務区域　調理室、貯蔵品室、ロッカー室、郵便物室、金庫室、作業室及び手荷物室	泡消火器、鎮火性ガス消火器又は粉末消火器のうちいずれか　1個（フライヤーを有する調理室にあっては2個）			
業務区域　調理器具のある配ぜん室及び洗濯物乾燥室	液体消火器、泡消火器又は粉末消火器のうちいずれか　1個			
制御場所	液体消火器、泡消火器、鎮火性ガス消火器又は粉末消火器のうちいずれか　1個（床面積が50㎡以上ある操だ室にあっては2個）			
塗料庫	塗料庫の出入り口付近の外部に持運び式の泡消火器、鎮火性ガス消火器又は粉末消火器のうちいずれか　1個		近海（限定近海船に限る）沿海、平水区域で500トン以上の第4種船には、塗料庫の出入り口付近の外部に持運び式の泡消火器、鎮火性ガス消火器又は粉末消火器のうちいずれか　1個	500トン以上は塗料庫の出入り口付近の外部に持運び式の泡消火器、鎮火性ガス消火器又は粉末消火器のうちいずれか　1個 漁船特殊規程（第51条の11）
無人の機関室（第69条）	火災探知装置	火災探知装置又は室の容積に対して十分の数の自動拡散型消火器		
予備薬剤（持運び式消火器又は簡易消火器の予備薬剤）（第71条）（船舶の消防設備の基準を定める告示第48条）	1,000トン以上は設置合計数が10以下の場合設置数と同数 設置合計数が10を超える場合、設置合計数が10を超えた数に0.5を乗じた数と10の合計（但し、60を超える場合は60とする） 100トン以上～1,000トン未満　設置合計数に0.25を乗じた数 100トン未満　設置合計数に0.1を乗じた数			設置合計数の50%以上 規定する数を超えて備え付ける消火器に充てんされている消火剤は予備の消火剤とみなす 漁船特殊規程（第51条の13）

注1：表中（簡易式代替可）とあるのは「持運び式消火器1個を簡易式消火器2個に代えることが出来る」を示す。
注2：鎮火性ガス消火器は炭酸ガス消火器を指す。
注3：1,000トン以上の第3種船の居住区域、業務区域及び制御場所に備え付けられる消火器の合計数は5個以上でなければならない。
注4：持運び式消火器のうち1個は、備え付ける場所の出入り口付近に配置しなければならない。

⚠ 使用上のご注意　●ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

●お客様相談窓口
0120-82-2041　電話受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日を除く）



サービスを真心でお届けします。

株式会社 初田製作所

ISO 9001　JQA-QM3671
ISO 14001　JQA-EM2837
（本社・支社・支店）

●製品改良・改善のため、仕様その他を予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

www.hatsuta.co.jp

消400　1204-2000S-S